

保育所ニュース

2月15日は組合員数の確定基準日です。 なんとしても過半数以上の拡大を！

すべての保育所で 組織拡大をとりくもう

要求実現のために

毎年行っている独法施設院内保育所（ピジョン）の組合員数調査日2月15日が近づいてきました。この組合員数（組織率）によって、時間外勤務に関する協定（36協定）を結びます。

昨年は、組合員数が全体で51%と過半数ギリギリでした。国立病院が独法に移行した2004年当時、院内保育所はピジョン（株）に一括委託されました。その際に保育所の先生方の雇用はピジョンの契約社員という形態



になり、賃金・勤務条件は大幅に切り下げられました。このときの腹立たしさは、今でも決して忘れることは出来ません。

組合に結集して

「不利益・雇止めは正裁判」を起こし、裁判は今最高裁にまで上がっています。8年という歳月は長く働き盛りの先生たちが定年を迎える年も近くなってきました。しかし、未だに身分はピジョンの契約社員。働く看護師たちを支えてきた院内保育所は不安定な状態のままです。思いは色々あると思いますが、組合に結集して頑張ることが、勤務条件を良くしていくこと、賃金を少しでも改善していくことにつながるのです。

保育所の先生方も多くが入れ替わり、独法移行前の国立病院時代のことを知らない先生も多くなってきました。同様に預ける親も独法以降に入ってきた職員が

多くなり、院内保育所「ピジョン」であると思っている保護者も多くなりました。

ピジョンは企業として一流企業ですし、子育てに関しては、はつきりとしたスタンスを持っています。このことは私たち全医労としても敬意を表しています。しかし、院内保育所は50年以上の歴史の上に成り立ち、多くの先輩方が試行錯誤の中で今に作り上げてきたものなのです。

原則、直営

施設がきちんと経営していくことを基本要件にしていることは全く変わりません。運動を継続させ、その中で現実の状況を少しでも改善して行くためにも、全医労としての組合運動が必要です。そのためにも過半数組織、多くの仲間の結集を心より呼びかけます。



2012 「春闘要求アンケート」 とirikumiをお願いします

3月のピジョンとの交渉に向けて、春闘要求アンケートを取り組みます。

ぜひ組織拡大と合わせて、支部と共に声を掛け合い、取り組んでください。

「子ども・子育て新システム」 導入反対署名 とirikumiをお願いします

保育制度を解体する「子ども・子育て新システム」の導入に反対しています。引き続き国会請願署名をとirikumします。



保育者と父母を結ぶ雑誌 ちいさいなかま

編集・全国保育団体連絡会 発行・発売・ちいさいなかま社

A5判 毎月28日発売 定価360円(本体343円) / 臨時増刊号(1月・8月)460円(本体438円)

年間購読料(12冊分)は、4,320円+送料。臨時増刊号を含む場合(14冊分)は、5,240円+送料

子育てや保育、仕事のこと、保育の制度のこと、なんでもいっしょに考えましょう。



全国の保育者、園の職員、お母さん、お父さんが世代を超えて読んでいます。

- 読者の声**
- *受読30年、心のささえです。(北海道・保育者・60代)
 - *こんなにホネがざっしり書かれた本ははじめて読みました!(愛知・保育者・50代)
 - *こんな考え方もあるんだ~と思いながら読んでいます。(岩手・保育者・40代)
 - *ステキな保育士さんがたくさんいるんだな、と感動しています。(大阪・母親・30代)
 - *育児と仕事の両立に忙しく、じっくり本も読めない日々。気になることは「ちいさいなかま」一冊で読めるのがありがたい!(千葉・母親・20代)

創刊
40
周年!



通称「ちいなか」
読んでみませんか?

子育てをしながら働く親の願いは...。“いい子に育てられますように” 風邪も引かずに大きなケガもしないように。夜も遅くまで働くお母さん、遊んであげる余裕のないお父さん、嫌いにならないで大好きでいてくれますように。

「お世話をかけます保母さん。うちの子よろしくお願いします」働く親はちょっとだけ悩んでいるのです。でも子どものために頑張っているのです。ぜひお母さんの話を聞いてみてください。

